Cisco CloudCenter リリース 4.8.x スタートアップ ガイド

初回更新日:2017 年 7 月 19 日

シスコシステムズ合同会社
〒 107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー
http://www.cisco.com/jp
お問い合わせ先:シスココンタクトセンター
0120-092-255(フリーコール、携帯・PHS 含む)
電話受付時間:平日 10:00～12:00、13:00～17:00
http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコとこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証と権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワークトポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco および Cisco ロゴは、シスコや米国および他の国の関連会社の商標です。シスコの商標の一覧は http://www.cisco.com/go/trademarks [英語] を参照してください。Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

© 2017 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

1. はじめに....2
1.1 CloudCenter 4.8 ドキュメンテーション....2
1.2 UI の動作....2
1.3 WalkMe の統合....6
1.4 ブラウザとの互換性....8
1.5 ダッシュボード....8
2. CloudCenter の基礎....13
2.1 機能....13
2.2 導入モデル....15
2.3 マルチテナント モデル....15
2.4 用語集....17
2.4.1 アプリケーション....17
2.4.2 クラウド....18
2.4.3 導入....18
2.4.4 エンタープライズ....19
2.4.5 財務....19
2.4.6 イメージ....20
2.4.7 人員....21
2.4.8 サービス....22
3. サポート対象....22
3.1 パブリック クラウド....22
3.2 データセンターおよびプライベート クラウド....25
3.3 仮想アプライアンス....26
3.4 インストーラ....27
3.5 アプリケーション プロファイル....27
3.6 サービス....28
3.7 ベース OS イメージ....30
3.8 ダイナミック ブートストラップのサポート....34
3.9 NFS ファイル システム オプション....35
3.10 サポート終了通知....35

はじめに

- CloudCenter 4.8 ドキュメンテーション
- UI の動作
- リリース ノート
- WalkMe の統合
- ブラウザとの互換性
- ダッシュボード

Cisco CloudCenter ドキュメンテーション、バージョン 4.8

一般的なリンク

- リリース ノート
- 追加設定不要のサポート
- 仮想アプライアンスの概要

システム アナウンス

2017 年 7 月 4 日

- シスコは **CloudCenter 4.8.0.1** をリリースしました。
- カスタマーホステッド型専用の導入：アップグレードの手順については、CloudCenter サポート チームにお問い合わせください。

トラブルシューティング

- PostgreSQL のトラブルシューティング
- CCO のトラブルシューティング
- ログ ファイルの検索
- サポート チケットのチェックリスト
- インストールに関してよく寄せられる質問（FAQ）

ベスト プラクティス

- 高可用性
- 導入
- モニタリング
- ガバナンス
- 継続的なパフォーマンス

最近の更新

用語集

- 1 分前に更新 • 変更の表示

IAM ロール

- 22 時間前に更新 • 変更の表示

インストール方法

- 昨日午後 6 時 7 分に更新 • 変更の表示

CloudCenter Manager UI

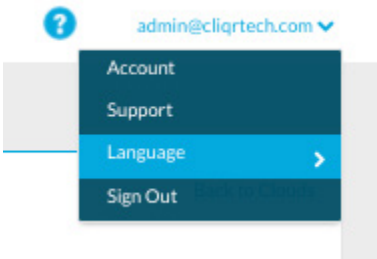
- 言語
- アイコン
- 共有ポップアップ
- 保存せずにキャンセル
- エラー処理

言語（Languages）

CloudCenter UI では英語以外の言語も使用できます。

- 英語
- フランス語
- 日本語
- 中国語（簡体字）

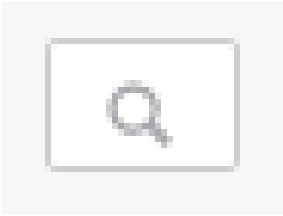
言語オプションは、管理者アカウントを設定する際に、次のように選択できます。



アイコン

CloudCenter Manager（CCM）実装のデフォルト値を設定できます。

次の表に、CCM のデフォルト値を示します。

アイコン	コントロール	設定	デフォルト	説明
スイッチ（Switch）	機能	**オフ（Off）**	○	機能は無効で、設定は不要です
		オン	–	オンにしてから設定値を有効にすると機能が有効になります
Eye	カンファレンスの公開/非公開（Visibility）	**表示**	○	デフォルト値がユーザに表示されます
		非表示	–	デフォルト値の表示が制限されます
ロック	設定（Configuration）	**パスワードのロック解除（Unlock ）**	○	ユーザがデフォルト値を編集できます
		ロック	–	デフォルト値の編集が制限されます
検索（Search） 	リソース	なし（None）	なし（None）	⚠ すべてのフィールドとリソースを検索できるわけではありません ユーザは、許可されたリソースに関して指定したテキストに基づいてリソースを検索できます。

順序	リソース	なし	最新のものから	選択したリソースについて、最新のものから、または期間が長いものからリスト項目を並べ替えます。
エクスポート（Export） **ダウンロード（Download）**	リストおよびレポート	なし	Microsoft Excel ファイル	VM、レポート、またはフィルタリングされたリストを Microsoft Excel（デフォルト）ファイル形式や別の形式にエクスポートします。
お気に入り（Favorite） Mark as Favorite	導入および VM	マークなし	マークなし	ジョブ、導入、または VM の横にある星形アイコンをクリックすると、そのジョブ、導入、または VM をお気に入りに追加できます。 お気に入りに追加したジョブまたは導入の金色の星アイコンをクリックすると、お気に入りリストからこのジョブまたは導入を削除できます。
Unfavorite		お気に入りとしてマーク		

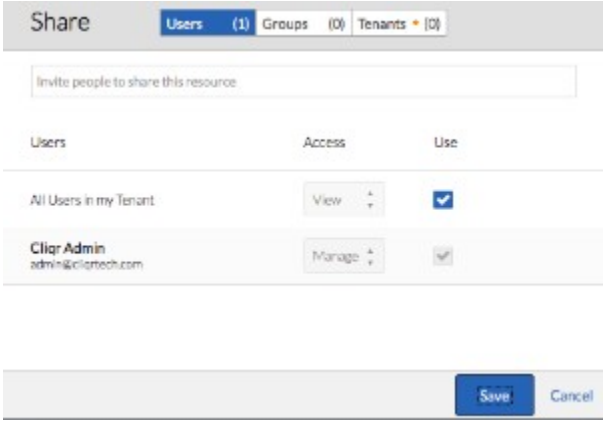
フローにおける設定アイコンの使用例については、「Deployment Environment Defaults」を参照してください。

順序アイコンとエクスポート アイコンの使用例については、「Reports Overview」を参照してください。

検索フィールドの使用例については、「VM Management」を参照してください。

共有ポップアップ

共有は、アクセス権限で決定される 3 つのレベルで設定できます（ユーザ、グループ、またはテナント）。



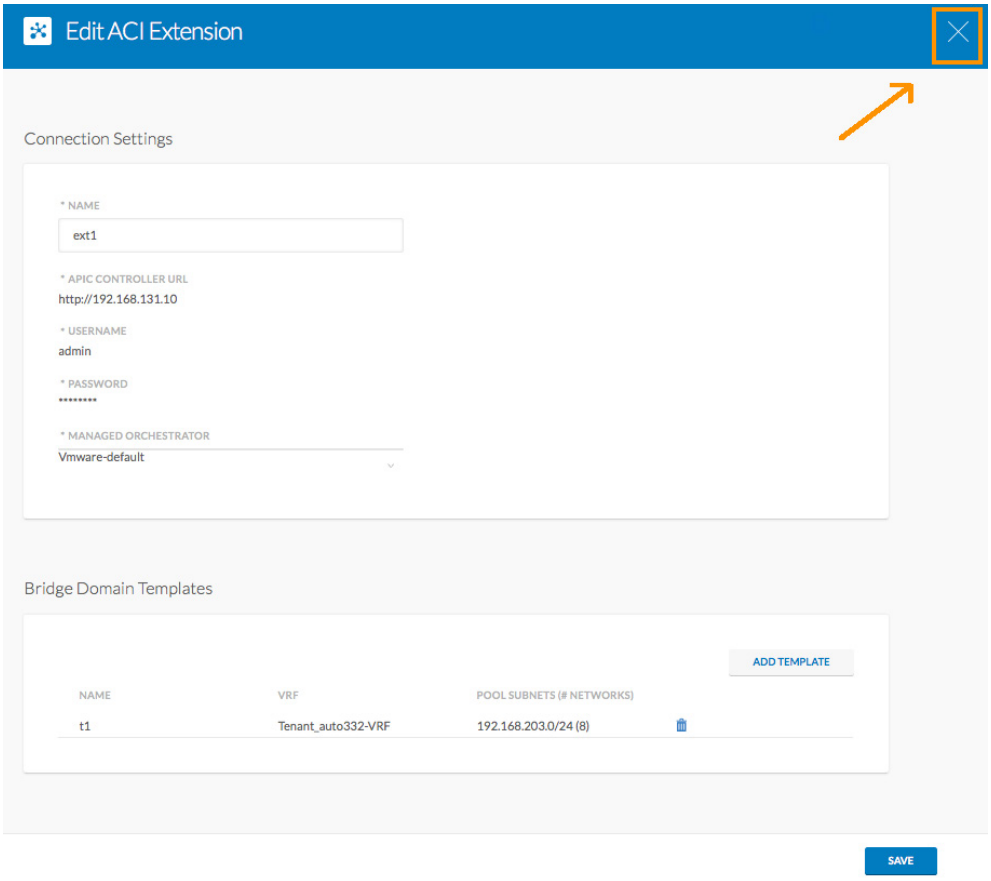
次の表に、CCM のアクセス レベルを示します。

タブ	コントロール
Users	● ユーザごとに固有のアクセス許可を割り当てるには、このリソースにユーザを追加してから、各ユーザにアクセス許可オプションを設定します。 ● すべてのユーザに同じアクセス許可を割り当てるには、[自分のテナントのすべてのユーザ（All users in my Tenant）] ボックスをオンにして、アクセス許可オプションを設定します。
グループ	● ユーザ グループにアクセス許可を割り当てるには、このリソースにユーザ グループを追加してから、アクセス許可オプションを設定します。
Tenants	● ユーザごとに固有のアクセス許可を割り当てるには、このリソースにユーザを追加してから、各ユーザにアクセス許可オプションを設定します。 ● 共有テナント階層の全ユーザでリソースを共有するには、[自分のテナントとサブテナントのすべてのユーザ（All users in my Tenant & Sub-Tenants）] ボックスをオンにします。

追加情報については、「Permission Control」を参照してください。

保存せずにキャンセル

設定中に、画面の右上隅の **X** をクリックすると、画面での変更内容または追加内容をキャンセルできます。この操作により、その画面を開いた元のページに戻ります。



エラー処理

CloudCenter UI は、導入の設定中に発生するエラーのフィードバックを提供します。次に例を示します。

状況	エラー メッセージが表示される場所	例
設定プロセス中にグローバルなシステム メッセージが表示された	ページ上部（ヘッダーの下）のピンク（エラー）またはグリーン（成功）のバナー内	*設定済みの Orchestrator にアクセスできません。（The configured Orchestrator is not accessible.）*
各フィールドに適切な情報が入力されていない	フィールドの下	*特殊文字は許可されていません。（No special characters allowed.）それらを削除してください。（Please remove them.）*
セクションの必須フィールドが未完了	セクション ヘッダーの横	*少なくとも 1 つのリージョンとアカウントを選択する必要があります（At least one region and account must be selected）*
ユーザ フロー ボタンをクリックする前に必須フィールドが選択されていない	ページ下部のボタンの横	リージョンとクラウドを選択して導入環境の名前を入力すると、[Define Default Cloud Settings（デフォルトのクラウド設定の定義）] ボタンが使用可能になります。

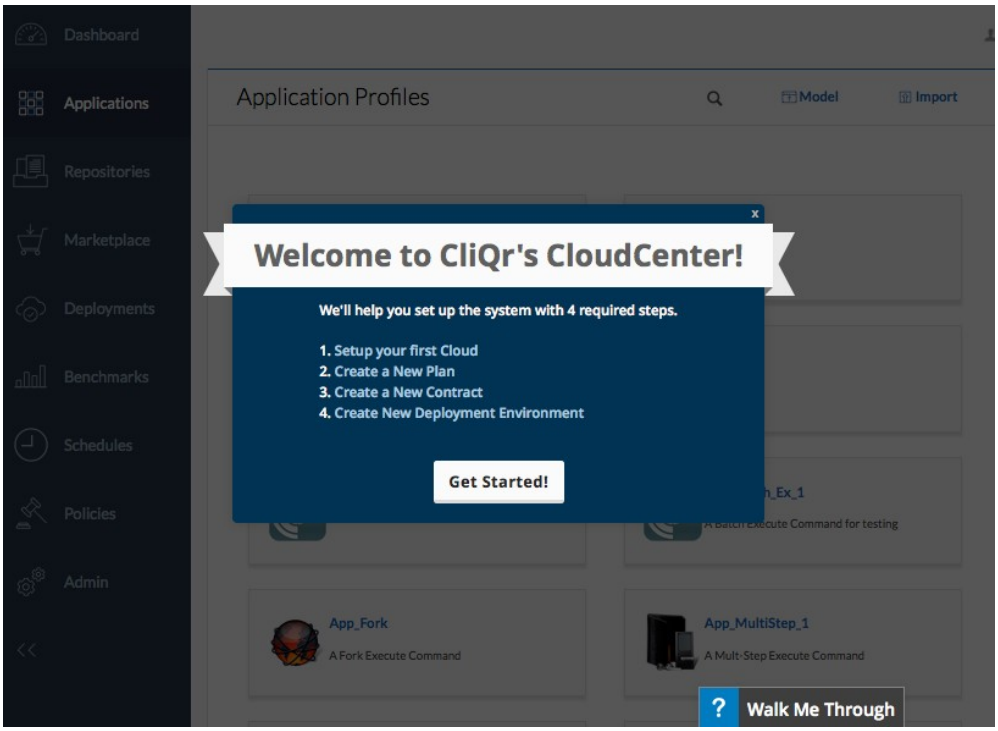
WalkMe の統合

- 概要
- WalkMe の無効化

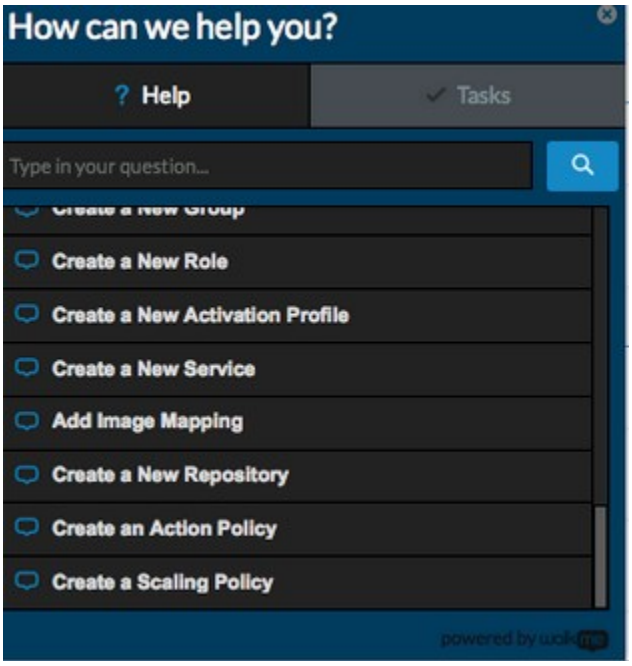
概要

CloudCenter は、**WalkMe** プラットフォームを使用して CCM UI の使用を補助します。ポップアップ、通知、その他のアクションの呼び出しなどのガイダンス ツールにより、導入情報の処理が支援されます。

初めて管理者としてログインすると、[CliQr の CloudCenter へようこそ!(Welcome to CliQr's CloudCenter !)] というバナーが表示され、セットアップに必要な手順の概要が示されます。



WalkMe にはユーザ関与ツール、[サポートが必要な場合(How can we help you?)] が用意されており、複数のウォーク スルー フローにアクセスできます。



トピックのドロップダウン メニューをスクロールし、使用可能なリストから関連する件名をクリックし、詳細のウォークスルーを開始できます。

[タスク(Tasks)] タブにアクセスすると、必要なタスクのステータスを確認できます。

WalkMe の無効化

CCM UI. から **WalkMe** を無効にすることはできません。

ただし、次の表に示すように、テナント レベルまたはグローバル レベルで WalkMe を無効にすることができます。

水準器	次の変数を設定	注記
テナント	**disable.walkme.help=1** `/usr/local/tomcat/webapps/ROOT/WEB-INF/vendor/{vendor_id}/vendor.properties`ファイル内	テナント環境で WalkMe ウィジェットを無効にする場合。
グローバル	**var loadWalkMe=false** （デフォルト = true） /usr/local/tomcat/webapps/ROOT/config.js ファイル内	グローバル レベルで WalkMe ウィジェットを無効にし、そのウィジェットが読み込まれないようにする場合。 この設定はテナント レベルの設定をオーバーライドします。

ブラウザとの互換性および解像度の最適化

ブラウザとの互換性

シスコでは、以下のブラウザの 2 つの最新バージョンをサポートしています。

ブラウザ	WebKit バージョン	注記
Internet Explorer	IE11	Internet Explorer を使用して CCM UI にアクセスするには、Microsoft Windows の管理者権限が必要です。
	Microsoft Edge	
Firefox	52+	–
Chrome	57+	関連するサービスまたはアプリケーションで会社の製品ロゴを使用すると、問題が発生する可能性があります。
Safari	9+	`apps.zip` ファイル内の [Apps] タブからアプリケーション メタデータをダウンロードすることはできません。これは既知の Safari の制限です。

解像度要件

モニタ表示を少なくとも 1360 ピクセルの幅に設定することにより、CCM UI の解像度を最適化します。

CloudCenter ダッシュボード

- 概要
- [サマリー（Summary）] ダッシュレット
- 自分のプランの使用状況（My Plan Usage）
- クラウド ステータス
- 最近の導入（Recent Deployments）
- お気に入りの導入（Favorite Deployments）
- 通知
- Google Charts の無効化

概要

CloudCenter ダッシュボードは、CloudCenter Manager（CCM）の UI のホームページです。

CCM UI は、ダッシュレットの形式で高レベルのサマリー詳細を提供します。ダッシュレットは、CCM UI で追加情報の場所を示すリンクを提供します。

[サマリー（Summary）] ダッシュレット

> 請求タスクは毎時実行されます。したがって、ジョブが導入されている場合でも、時間単位の課金タスクが少なくとも 1 回実行された***後***にしか、このジョブの初期コスト項目が表示されないことがあります。実行中のジョブのコストがダッシュボード、および件名に関するレポートに表示されるまでに、最大で 1 時間かかることがあります。

[サマリー（Summary）] ダッシュレットに、以下に基づく情報が表示されます。

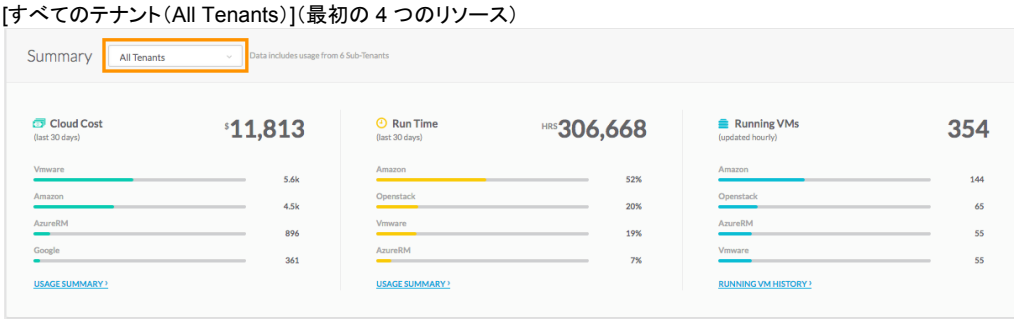
- **計算コスト**消費
- **ランタイム**消費（時間）
- **実行中の VM** の数

リストされた項目がサマリー リストに表示されます。

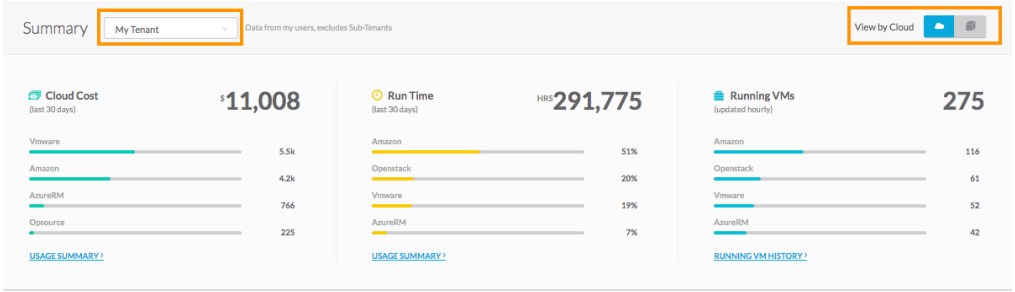
情報の下にあるリンクをクリックすると、関連するレポートにアクセスできます。

以下に、ダッシュレットの表示オプションを示します。

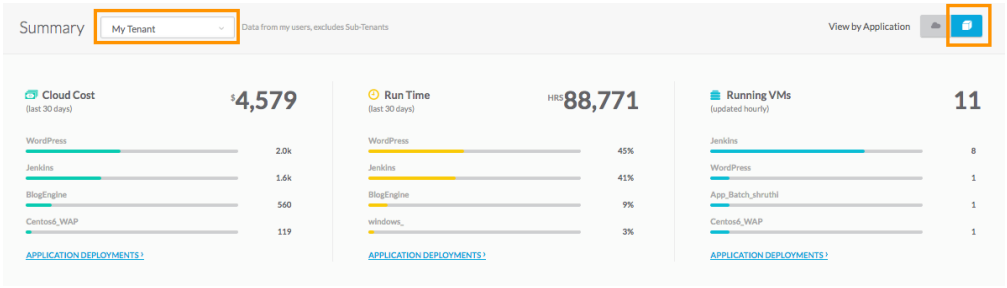
- 情報の表示：
  - [クラウド別に表示（View by Cloud）]（デフォルト）
  - アプリケーション別に表示（View by Application）
  - インポートされた VM の情報を含める（詳細については、「VM Management」を参照）
  - このフローでは、時間ごとに更新されるデータを過去 30 日にわたってきめ細かいリソース詳細とともに追跡できます。
- データ階層の概要：
  - [すべてのテナント（All Tenants）]（最初の 4 つのリソース）



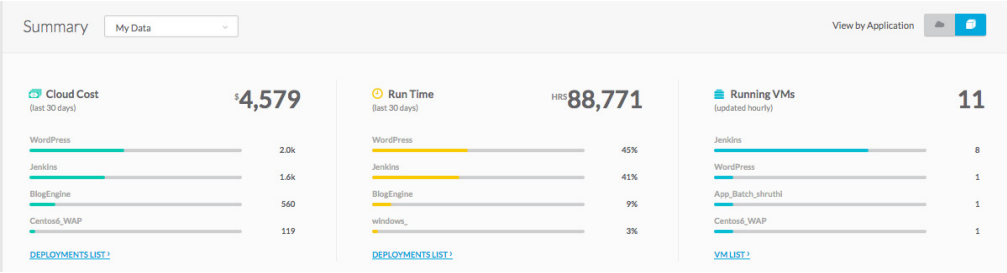
  - クラウド別の [自分のテナント（My Tenant）]



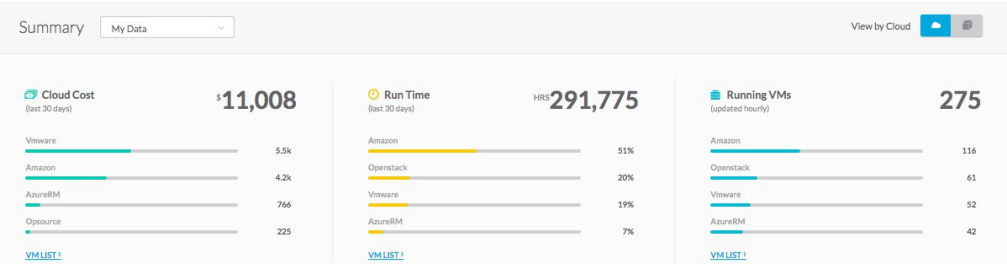
アプリケーション別の [自分のテナント（My Tenant）]



- クラウド別の [自分のデータ(My Data)](CloudCenter が導入された VM の場合にのみ使用可能で、インポートされた VM の場合は使用不可)



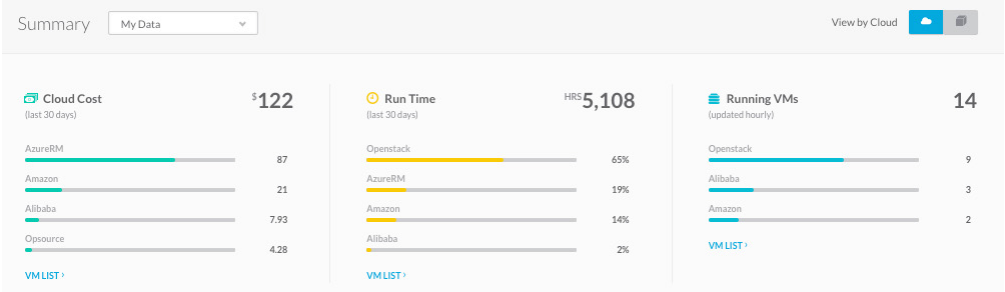
アプリケーション別の [自分のデータ(My Data)]



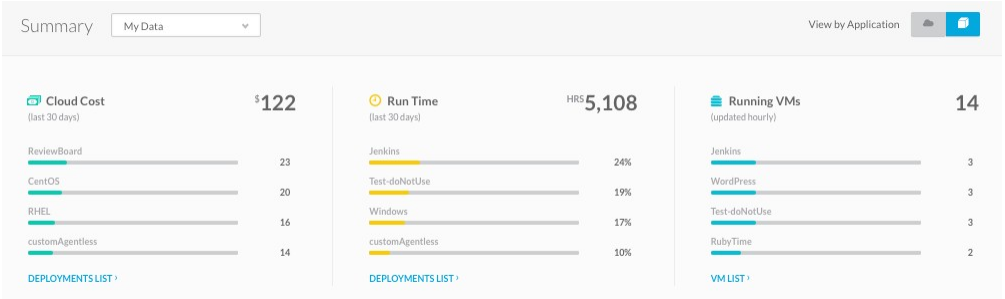
- サブテナント 1(Sub-Tenant 1)
- サブテナント 2(Sub-Tenant 2)、など

ダッシュボードで提供されるデータは、各ユーザの権限コントロールによって異なります。たとえば、標準ユーザの場合、クラウド別に表示とアプリケーション別に表示の両方で、[自分のデータ(My Data)] の同じ詳細が表示されます

- 標準ユーザの場合のクラウド別の [自分のデータ(My Data)]:

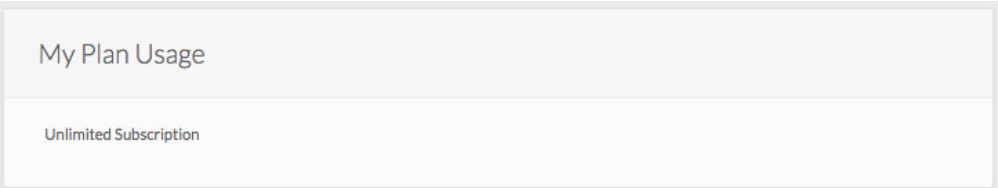


- 標準ユーザの場合のアプリケーション別の [自分のデータ(My Data)]:

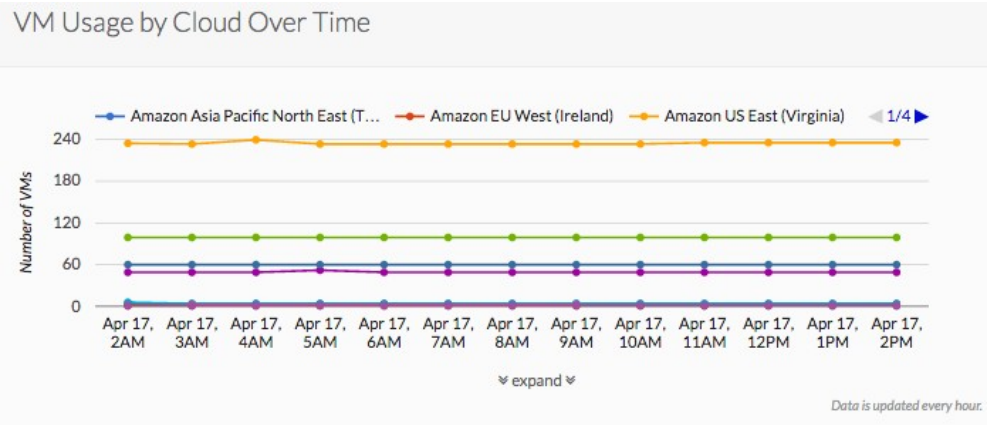


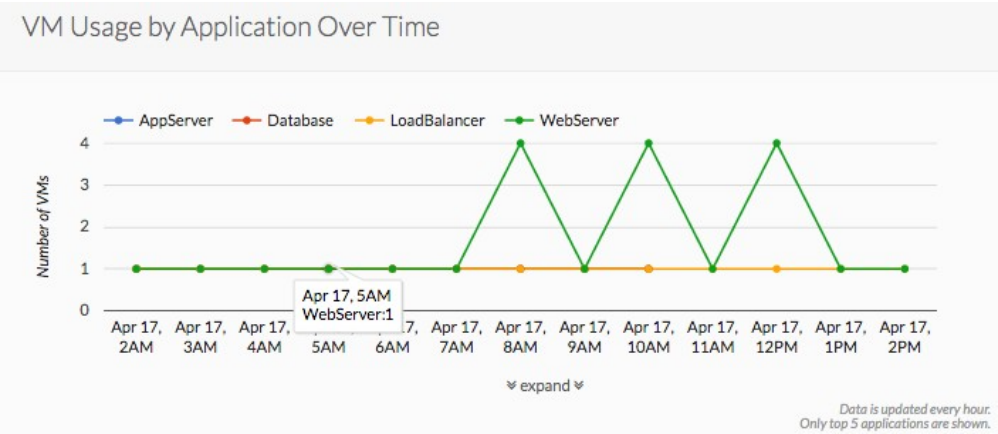
自分のプランの使用状況(My Plan Usage)

[自分のプランの使用状況(My Plan Usage)] セクションには、テナント管理者によって設定されたユーザのプランが表示されます。



設定されているプランに基づいて、次の図に表示されているような追加データが表示されます。

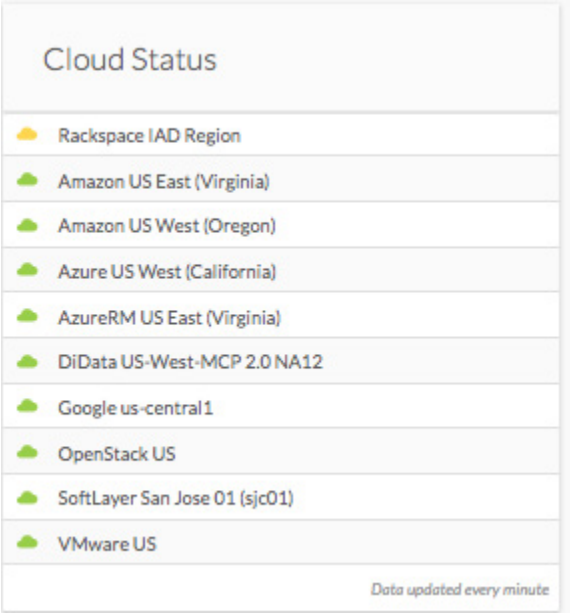




詳細については、「Usage Plan」を参照してください。

クラウド ステータス

CloudCenter ダッシュボードには、CloudCenter 導入内の各クラウドのヘルス ステータスが一覧表示されます。



設定済みのすべてのクラウドが表示されます。

クラウドのヘルス ステータス

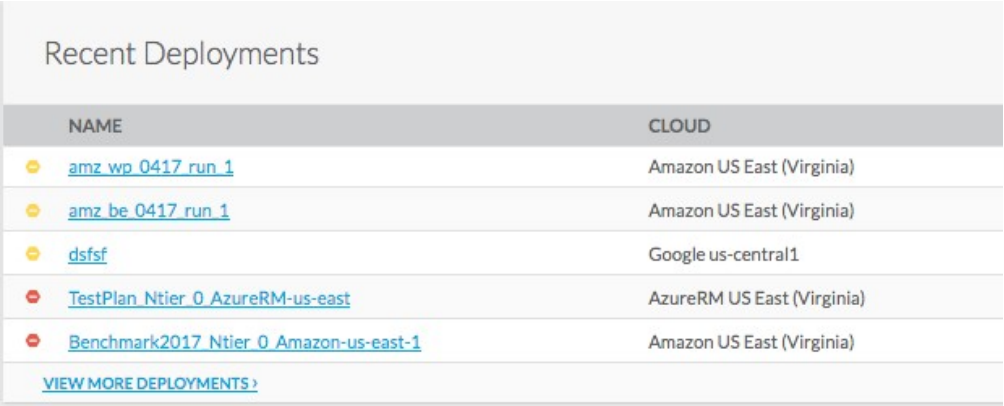
クラウド ヘルスおよび CCO ヘルスに基づいたクラウド ヘルス ステータスが CCM UI ダッシュボードに表示されます。

ヘルス チェック マネージャがシャットダウンすると、ステータスは **UNKNOWN** として表示されます。

CCO ステータス	クラウド ステータス		
	UP	**UNKNOWN**	**DOWN**
UP	緑	グレー	赤
UNKNOWN	グレー	グレー	赤
DOWN	オレンジ（Orange）	グレー	赤

クラウド チェックはデフォルトで無効になっています。有効になっている場合、モニタでボリュームの作成、VM の開始と停止などの操作を実行します。クラウド チェックを有効にするには、モニタ サーバの **CLOUD_TYPES** テーブルで対応するレコードの **test_cloud** フィールドを **true** に変更してから、サーバを再起動します。

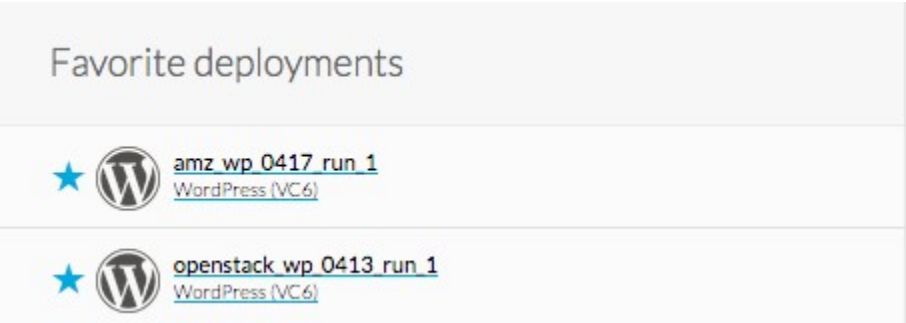
最近の導入（Recent Deployments）



このセクションには、CloudCenter インスタンスから起動された最新の導入が表示されます。[さらに導入を表示（View More Deployments）] リンクをクリックすると、「Deployments」ページに直接移動して、起動されたすべての展開を一覧表示できます。
ただし、プロジェクトはプロジェクト オーナーのダッシュボードに**のみ**表示されます。他のユーザが追加されても、プロジェクトが**パブリッシュされた***後に*、ユーザ ダッシュボードに表示されます。

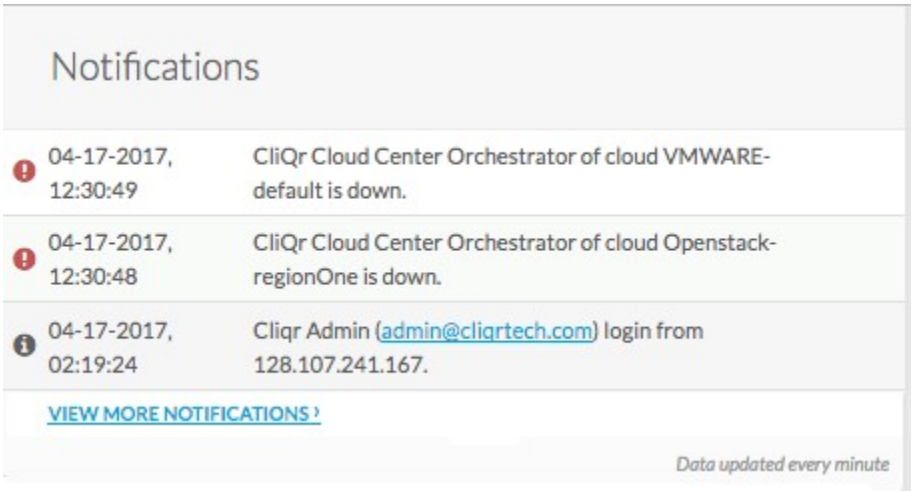
お気に入りの導入（Favorite Deployments）

[お気に入りの導入（Favorite Deployments）] の下のダッシュボードにお気に入りの導入がリストされます。導入の横にある星アイコンをクリックすると、お気に入りリストから削除されます。



リンクをクリックすると、導入済みアプリケーションに直接移動します。詳細については、「Deployments」を参照してください。

通知



CloudCenter プラットフォームの設定が変更されるたびに、対応する通知を受け取ることもできます。いずれの場合も、通知はダッシュボードの [通知（Notifications）] セクションに表示されます。

たとえば、プロジェクトとフェーズは導入が昇格または降格されるたびに示されます。

[さらに通知を表示（View More Notifications）] リンクをクリックすると、サブジェクト CloudCenter インスタンスの通知リストを表示する [アクティビティ ストリーム（Activity Stream）] ページが表示されます。

Google Charts の無効化

CloudCenter プラットフォームでは、Google Charts を使用して [ダッシュボード（Dashboard）] ページに経時的な VM 使用状況を表示します。一部の顧客が日常的にこれらのチャートを参照する必要がある一方で、他の顧客は、制限されたインターネット接続に対処して VM を同じ制限レベルに保つ必要があり、Google Chart JS を Google.com からダウンロードすることを好まないかもしれません。このアプリケーションをダウンロードしない場合、エンドユーザで JS エラーが発生したり、場合によりブラウザがフリーズする状況も発生するかもしれません。このシナリオを回避するには、Google のグラフの使用を無効にします。

Google Charts のロードを無効にするには、次のプロセスを実行します。

1. CCM サーバにアクセスします。
2. usr/local/tomcat/webapps/ROOT/config.js ファイルを編集します。
3. 次の変数を **false** に設定します（デフォルト = true）。

```
var loadGoogleCharts = false
```

4. ファイルを保存して、終了します。

これで、CCM UI 起動時の Google Charts のロードが無効になりました。

CloudCenter の基礎

- 機能
- 導入モデル
- マルチテナント モデル
- 用語集

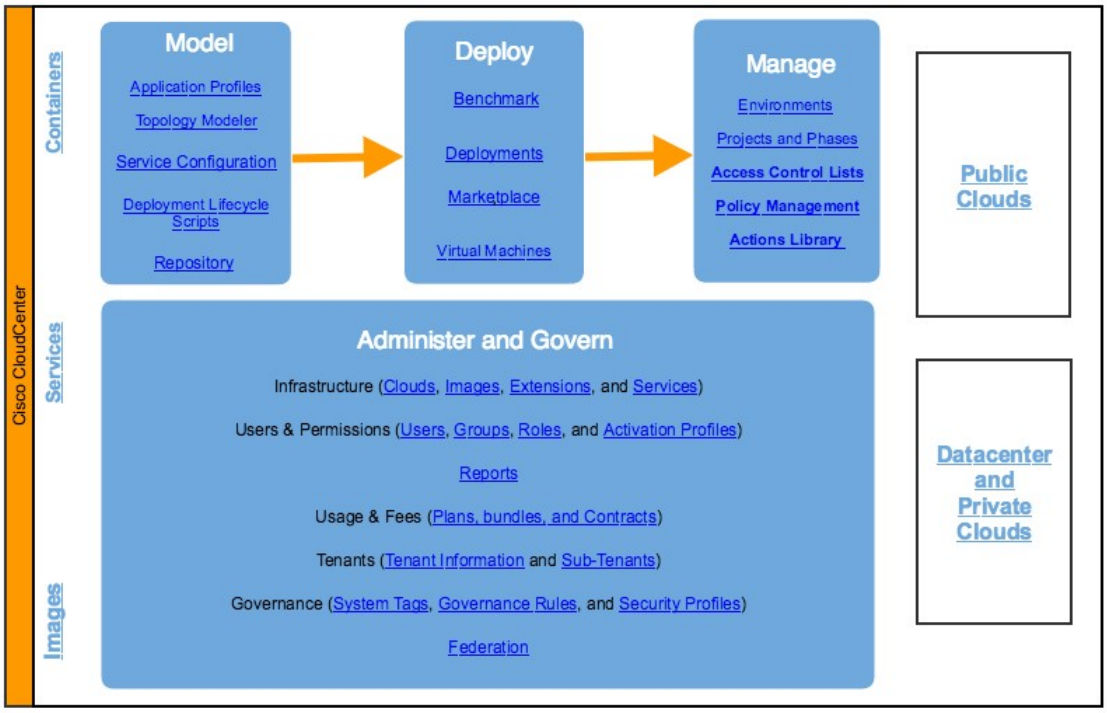
CloudCenter の機能

プラットフォーム アーキテクチャ

CloudCenter は、データセンター、またはパブリックまたはプライベートのクラウド環境の導入および管理におけるライフ サイクル アプローチを提供する、安全なハイブリッド管理プラットフォームを備えています。統一されたクラウドとユーザの管理とガバナンスを使用して、実装全体にわたってアプリケーションのモデリング、導入、および管理を行うことができます。

アプリケーションは基盤となるクラウド環境からは切り離されているため、インフラストラクチャが導入および管理の要件を満たすことができます。

主要な機能を次の図に示し、以下のセクションで説明します。



モデル

CloudCenter Model を使用すると、クラウドに依存しないアプリケーション プロファイルおよびリポジトリを作成および管理できます。その後、アーキテクチャ要件と環境タイプ プロファイルを決定し、確認できます。詳細については、「Model」を参照してください。

展開

CloudCenter Deploy を使用すると、クラウド インフラストラクチャに既存のアプリケーションを移行、または新しいアプリケーションをオンボードできます。詳細については、「Deploy」を参照してください。

管理

CloudCenter Manage を使用すると、CloudCenter を使用してアプリケーション導入の管理および継続的な操作を行うことができます。詳細については、「Manage」を参照してください。

管理とガバナンス

CloudCenter の管理とガバナンス機能を使用すると、複数のテナント（組織）およびユーザ（またはユーザのグループ）を制御できます。このマルチテナント型マルチユーザ ガバナンス タイプでは、CloudCenter フレームワーク内のオブジェクトに対して権限と制御を詳細に設定できます。詳細については、「Govern and Administer」を参照してください。

CloudCenter 導入モデル

CloudCenter は、データセンター、パブリック クラウド プロバイダー、およびその他のデータ管理施設などの施設でホストおよび管理することができます。

シスコは、ソフトウェア インストール用のインストーラ パッケージまたはイメージ リポジトリを提供します。

シスコはお客様のアプリケーション データやメタデータにアクセスしません。

エンタープライズは以下に対する責任を持ちます。

- CloudCenter の構成とセットアップ
- 次のような、CloudCenter 全体のホスティングと管理：
  - サブスクリプション サービス
  - 各クラウド上の導入環境
  - 各クラウドおよびコンポーネントの論理イメージ（イメージ管理）
- プライベート データセンターでの CCO の設定とホスティング
- エンタープライズ（テナント）管理者の設定
- コントラクトに従った、ユーザまたはサブテナント管理者の追加

マルチテナント モデル

- 概要
- シングルテナント モデル
- ピア マルチテナント モデル
- 階層型マルチテナント モデル

概要

CloudCenter はマルチテナント型マルチユーザ システムです。

初めて使用すると、単一のデフォルト テナント（tenantId=1）がシステムに作成され、電子メール アドレスが admin@clirqtech.com であるルート テナントとして識別されます。

このコンテキストでは、ルート テナントのオーナーは以下を実行できます。

- 他のユーザの作成
- 作成したユーザをルートの下のサブテナント レベルに昇格

テナント階層のレベル数に制限はありません。

詳細については、次のページを参照してください。

- 人員
- Sub-Tenant Configuration
- User States and Actions
- API Use Cases

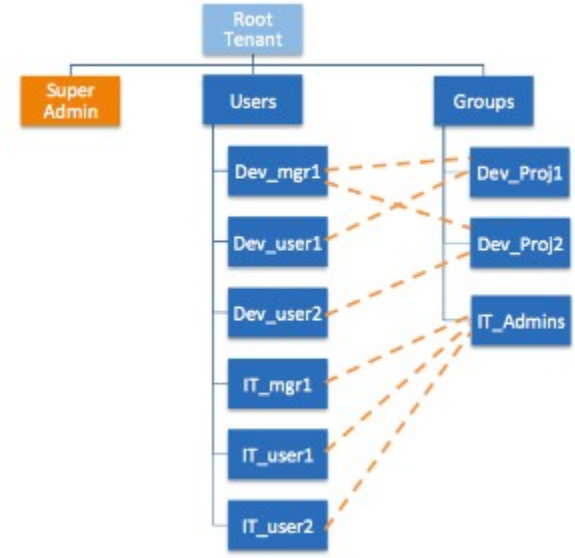
シングルテナント モデル

次のシングルテナント モデルの図は、以下を示しています。

- SAML SSO 統合を使用したルート テナント
- ロール ベースのアクセス制御。ユーザおよびグループに対して最小限の集約された権限を適用できます。

このモデルでは、次のような属性が適用されます。

- ユーザは、ログイン時にそれぞれのグループに関連付けられます
- リソース レベルの共有と権限コントロールにより、ユーザ リソース アクセスが決定されます



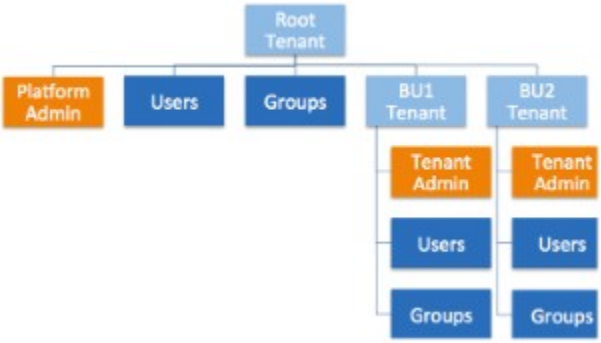
ピア マルチテナント モデル

次のピア マルチテナント モデルの図は、以下を示しています。

- テナント で個別の SAML SSO 統合を使用
- 各テナントに固有のロール ベースのアクセス制御

このモデルを使用すると、次のような利点があります。

- リソースレベルの共有と権限コントロールは、各テナントに固有です
- 複数のテナント間でのリソースのクロスシェアリングは**許可されません**



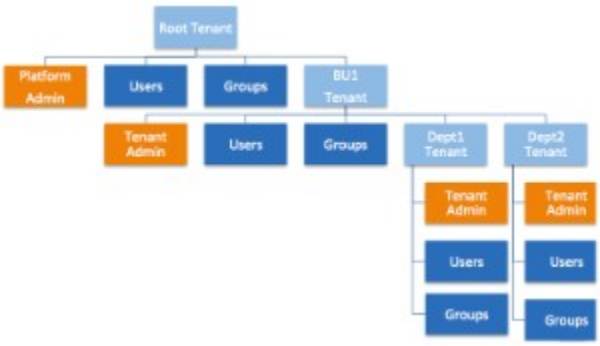
階層型マルチテナント モデル

次の階層型マルチテナント モデルの図は、以下を示しています。

- 各テナントは、テナントごとに個別の SAML SSO 統合を使用できます
- テナント階層のレベル数に制限なし

このモデルを使用すると、次のような属性が適用されます。

- ロール ベースのアクセス制御は、各テナントに固有のものです
- リソースレベルの共有と権限コントロールは、各テナントに固有のものです
- **サービス（Admin）、アーティファクト リポジトリの共有、およびクラウド**に関して、リソースのクロスシェアリングが**テナント間で許可されます**。



用語集

- アプリケーション
- クラウド
- 導入
- エンタープライズ
- 財務
- イメージ
- 人員
- サービス

Application

アプリケーション関連の用語

用語	説明
Application	インストール済み/導入済みアプリケーション（モデリング前または導入後のアプリケーション）。
アプリケーション プロファイル	環境間のポータビリティを維持した状態でアプリケーションを導入するために使用される、クラウドに依存しない導入に対応した JSON および XML 記述。
アプリケーション プロファイル テンプレート（テンプレート）	さまざまなアプリケーション タイプ（階層化された Web アプリケーション、ジョブベースのアプリケーションなど）またはアプリケーション テクノロジー（Java、Hadoop など）に適したオーケストレーション タスクを決定するアウトオブボックス トポロジ。
アプリケーション スタック	アプリケーション、アプリケーション サーバ、ミドルウェア、データベース、コンテナ、PaaS サービス、およびデータへの総体的な参照。DevOps アプリケーション スタックにはビルドと環境も含まれています。 CloudCenter では、サポートされるデータセンター、プライベート クラウドまたはパブリック クラウド環境で、ポータビリティを確保すると同時に、新規または既存の単純なアプリケーション スタックや複雑なアプリケーション スタックを導入および管理できます。
アプリケーション マーケットプレイス（マーケットプレイス）	CCM UI で参照される場所です。ここから、シスコが提供するさまざまな事前定義済みアプリケーションにアクセスできます。また、企業は、自社の顧客向けのカスタム アプリケーションをさらに提供できます。詳細については、「Enterprise Marketplace」を参照してください。
アーティファクト（アプリケーション アーティファクト）	1 つ以上のアーティファクト リポジトリに格納されたパッケージ、イメージ、バイナリ、ファイル、スクリプト、および物理イメージに含まれるアプリケーション データ。
ベンチマーク	複数のクラウド プロバイダー間、または単一クラウド プロバイダーの複数のクラウド リージョン間でアプリケーション プロファイルをアクティブに展開し、顧客によるコストおよびパフォーマンスの最適化に役立つレポートを作成します。詳細については、「Benchmark Applications」を参照してください。
ガバナンスと管理	*管理とガバナンス*とも呼ばれます。アプリケーション、クラウド、およびユーザ全体の可視性と制御を実現するために管理者が使用する機能。詳細については、「Govern and Administer」を参照してください。
モデル	クラウドに依存しないアプリケーション プロファイルおよび関連するアーティファクト リポジトリの作成と管理に使用されるプロセスおよび機能。詳細については、「Model」を参照してください。
移行/導入	導入環境を選択してアプリケーション プロファイルを展開することで、クラウド間のポータビリティを確保すると同時にネイティブ インストール済みのアプリケーションを導入するために使用されるプロセスと機能。詳細については、「Deploy」を参照してください。

用語	説明
管理	導入環境の集中管理、モニタ、レポート、および自動化されたランタイム ポリシーの適用に使用されるプロセスと機能。詳細については、「Manage」を参照してください。
ポータビリティ	サポートされている他の導入環境へのアプリケーション スタックの移行を可能にするアプリケーション プロファイルの属性。詳細については、「Migrating Applications Containing Data」を参照してください。
プロファイル管理	ベンチマーク、導入、エクスポート、共有、マーケットプレイスへの公開、編集、削除など、アプリケーション プロファイルを管理するためにユーザが実行する処理。詳細については、「Application Profile」を参照してください。

クラウド

クラウド関連の用語

用語	説明
クラウド	CCM UI の [クラウド(Clouds)] ページで追加または更新するクラウド。
クラウド アカウント	CloudCenter プラットフォームでクラウド プロバイダーのアカウントに関連付けられた詳細情報。
クラウド ファミリ	「パブリック クラウド」または「データセンターとプライベート クラウド」で特定されているクラウド プロバイダー。
クラウド リージョン	CCM UI のクラウド グループで識別されるリージョン。
クラウド非依存	コードの変更またはリファクタリングを行わずに、サポートされているデータセンター、プライベート クラウド、またはパブリック クラウド環境に展開できるかどうかを示すアプリケーション プロファイルのプロパティ。
CloudCenter	安全にインフラストラクチャ リソースをプロビジョニングし、15 を超えるデータセンター、プライベート クラウド、およびパブリック クラウド環境にわたって、アプリケーション コンポーネントとデータを導入できるアプリケーション定義の管理プラットフォーム。
クラウド間の移行	ダウンタイム ベースの移行プロセスを使用して、導入済みのアプリケーションをクラウド間で移行します。
クラウド独立型	アプリケーション プロファイルが*どの*クラウド インフラストラクチャにも組み込まれていない CloudCenter の*柔軟性*を指します。
クラウド ストレージ	クラウド固有の読み取り専用アーティファクト リポジトリ。
データセンターとプライベート クラウド	仮想化および組織化された環境を含みます。CloudCenter は、Cisco UCS Director(UCSD)などの物理リソース管理、VMware vCenter などのコンピューティング仮想化管理、VMware vRealize Automation などのデータセンター オーケストレータをサポートします。完全なリストについては、「データセンターとプライベート クラウド」を参照してください。
実行場所	CloudCenter でサポートされているデータセンターとプライベート クラウドおよびパブリック クラウド。
完全なライフサイクル管理	クラウドとユーザの統合管理およびガバナンスによってクラウド環境でアプリケーションをモデリング、移行、管理するために使用される CloudCenter 独自のアプローチ。
ハイブリッド クラウド	データセンター、プライベート クラウド、およびパブリック クラウド環境が含まれます。
パブリック クラウド	アプリケーション プロファイルは、Amazon Web Services、Microsoft Azure、Google Compute クラウドなどの複数のパブリック クラウド環境に展開できます。完全なリストについては、「Public Clouds」を参照してください。ガバナンスに適用する場合のワード ルールです(ポリシーではない)。ワード ポリシーは導入ポリシー(自動スケーリングなど)にのみ使用します。
仮想 IP(VIP)	仮想 IP(VIP)は、データベース サーバと同じサブネット内に存在する IP アドレスを指します。CCM はこの IP アドレスでデータベース サーバと通信します。DB マスターと DB スレーブの両方を同じ VPC から起動する場合に VIP を使用します。 VIP を使用する場合は、VPC 内のサブネットの 1 つから未使用の IP を選択します。

展開

導入関連の用語

用語	説明
ジョブ	ジョブとは、多くのプロパティ(所有権、クラウド コスト、導入情報など)を含む単一のアクションです。ジョブは、他の子ジョブを含む場合や親ジョブの子である場合があります。リストについては「jobs(v2)」を参照してください。
展開	アプリケーションの導入を指します。導入には一連のジョブ(VM の作成など)が含まれます。導入には子や親の概念はありませんが、ジョブがまとめられるため、ジョブ間でプロパティを共有できます(たとえば、アプリケーション導入環境内の VM 間でプロパティを共有します)。
導入済みアプリケーション	導入環境で実行されているアプリケーション。

導入環境	クラウドまたはクラウド ゾーンで、特定用途（開発など）のために複数のユーザに共有アクセスを提供します。 ● ユーザは、各組織のアプリケーション ライフサイクル管理の段階に基づいて、クラウドとクラウド アカウントの組み合わせで構成される導入環境を構築および管理できます ● アクセス権限を持つユーザが導入環境にアプリケーションを導入する際、ユーザは各自の権限レベルに応じた導入の表示や管理が可能です。 ● 詳細については、「Environments」を参照してください。
導入のライフサイクル アクション	停止や一時停止など、導入に適用可能な、ユーザが開始するアクション
導入管理	導入の開始、停止、削除、再実行、促進、一時停止など、導入を管理するためにユーザが実行できるアクション
ルール（Rule）	一元管理コントロールを使用してより詳細な制御を実行するガバナンス メソッド
ポリシー	ユーザが指定したイベントまたは条件が特定の導入で発生した場合にスケーリングまたはエージングの処理を実行するよう、CloudCenter プラットフォームに提供される指示
タグ	名前と任意の説明で構成された、CloudCenter プラットフォームのリソースを関連付けるラベル

エンタープライズ

エンタープライズ関連の用語

用語	定義（Definition）
テナント	独自のユーザ管理機能（子を制御できない、または親テナントで制御できない分離されたアカウント）を持つ自律したユニット
Multi-Tenant（マルチテナント）	CloudCenter では、各テナントの管理者が順番に任意の数のサブテナントとユーザを追加できるマルチテナント アーキテクチャが採用されています。
エンタープライズ	会社や組織。
部署名（Department）	会社または組織内の課、グループ、部。
リソース	CloudCenter の ***リソース***は、ユーザ、テナント、グループ、ロール、契約、バンドル、プラン、アクティベーション プロファイル、クラウド アカウント、クラウド ファミリ、クラウド リージョン、クラウド ネットワーク、クラウド インスタンス、クラウド イメージ、アプリケーション、アプリケーション プロファイル、セキュリティ プロファイル、導入、ジョブ、プロジェクト、フェーズ、導入環境、ポリシー、リポジトリ、システム タグ、レポートなどを指します。

金融（Finance）

財務関連の用語

用語	説明
アプリケーション料金	関連コスト（ワンタイム料金、月額料金、ランタイム料金）が発生するアプリケーションをユーザがインポートした場合の請求料金。詳細については、「Application Fee」を参照してください。
基本価格	年間契約プランに関わる料金。
バンドル	バンドルで指定された容量に応じてユーザがアプリケーションを実行できるプリペイド カード。
同時 VM 数	月額利用プランに従って各ユーザが同時に実行できる VM の数
コントラクト	シスコとの契約期間を決定する次の両者間の契約。 ● 組織とルート管理者 ● ルート管理者とテナント ● テナント管理者とユーザ ● テナント管理者とサブテナント管理者 ● サブテナント管理者とユーザ
割引率	契約によっては割引率が適用される場合があり、より長期の契約に対するインセンティブをユーザに提供します。通常は、契約期間が長いほど割引率が大きくなります。この割引はプランの基本ワンタイム料金、年額料金、バンドル価格、月間契約料金に適用されます（超過料金とストレージ料金の割引は行われません）。

プラン料金	● 超過料金：ユーザがプランの割り当てを超過した場合に時間単位で発生します（月間契約またはバンドル クレジット）。 ● ワンタイム料金：管理者がプランの初期設定を行ったときに発生します。 ● 年額料金：毎年特定の日に前払いするプランの年間請求をユーザが選択した場合に発生します。契約プランの場合は月単位でのみ利用可能なため、この料金は該当しません。
最低料金	ユーザがアプリケーションを実行したときにプランから差し引かれる最小時間（分）。
月間の VM 使用時間	ユーザに毎月割り当てられる VM の使用時間。
実行可能な最大 VM 数	ユーザが毎月使用できる VM の数。
ワンタイム料金	ユーザがプランを変更するたびに請求される料金です。
超過制限	● ユーザが契約に定める上限を超えた場合に請求される料金です。 ● 管理者はユーザが上限を超えた場合に料金を請求するかどうかを指定できます。 　● 制限あり：上限に達した場合は導入を停止します（指定料金が請求されます）。 　● 無制限（デフォルト）：超過料金が発生した後も導入が継続されます（追加料金なし）。
超過料金	ユーザが超過制限を超えた場合の 1 時間あたりのコスト。
プラン	CloudCenter 管理者が作成してユーザに割り当てる契約（ユーザに対してキャパシティまたは許可される使用量を指定します）。
ランタイム	*ランタイム*は時間数を示します。 ● VM：導入の一部として VM が実行されている**時間数** ● 外部サービス：導入の一部としてサービスがアクティブ状態になっている**時間数**
シード クレジット	管理者が [バンドル（Bundles）] ページでバンドルを設定すると、設定したバンドルが [シード クレジット（Seed Credits）] ドロップダウン リストに表示されます。このドロップダウン リストを使用してバンドルをプランに関連付けることができます。

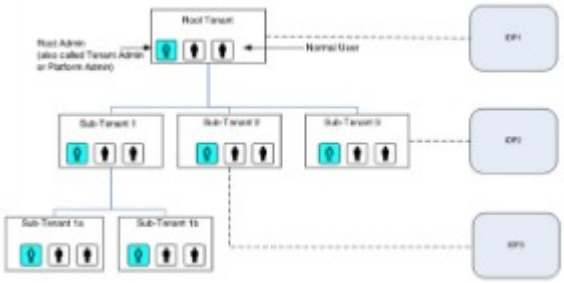
画像

イメージ関連の用語

用語	定義（Definition）
画像	クラウド インスタンスまたはサーバ上で実行されるベース OS またはアプリケーションのスナップショット。
ベース OS イメージ	アプリケーションのモデリング用に CloudCenter プラットフォームによって提供される、クラウドに依存しない論理イメージ。
論理イメージ	ネイティブにアプリケーションを導入するために必要なアーティファクトを示したアプリケーション プロファイルの一部。リポジトリに格納された物理イメージを参照します。
物理イメージ	ネイティブにアプリケーションを導入するために使用されるアプリケーション ファイル、パッケージ、およびスクリプト。アプリケーション プロファイルの論理イメージで参照されます。
システム イメージ	すべてのベース OS イメージ。
カスタム イメージ	顧客によって作成されるイメージ。
インポートしたイメージ	1 つのクラウドで実行されている既存の VM イメージで、さまざまなアプリケーション プロファイルにインポートされてカスタム イメージとして使用されます。
Worker1 イメージ	アプリケーション VM イメージは Worker1 イメージとも呼ばれます。いずれの用語も Linux および Windows マシン イメージを指します。詳細については、「ベース OS イメージ」を参照してください。

人員（People）

人員関連の用語

用語	説明
プラットフォーム管理者（ルート）	CloudCenter をホストしている企業や組織の代表者で、特別な管理権限とすべての CloudCenter 機能へのアクセス権を持ち、クラウドおよび最初のクラウド アカウントの設定、ユーザの作成、テナントの追加を行います。  プラットフォーム管理者は次の操作を実行できます。 ● CloudCenter でクラウドとクラウド アカウントを設定および登録する ● テナントおよびサブテナントを作成する ● サブテナント オーナーまたは共同管理者に昇格させる ● ユーザ、クラウド、およびテナントの権限を管理する
テナント管理者	CloudCenter のマルチテナント モデルは、特定のユーザおよびグループがアクセス可能な機能をテナント レベルで分けることを指します。 テナント管理者と呼ばれる個々の管理者が各テナントを制御します。テナント レベルでテナント管理者はテナントのユーザやユーザ グループを作成できます。テナントは、テナント内のユーザおよびユーザ グループを管理する上で完全に独立しています。たとえばテナントを持つ組織には、ワークフロー、クラウド、UI、アプリケーション、ガバナンス モデルなどを親から分離してカスタマイズする必要がある事業部門などがあります。 プラットフォーム管理者から許可されていれば、テナント管理者は次のタスクを実行できます。 ● プライベート クラウドに CCO をインストールする ● サブテナントを作成する ● テナント ユーザまたはサブテナントに対してパブリック クラウド リージョンのサブセットを有効にする ● クラウド アカウントとクラウド認証クレデンシャルを設定し、有効なクラウドでリソースをプロビジョニングする ● 有効なアカウントがテナント ユーザやサブテナントと共有されるように設定する ● テナント レベルのアプリケーション プロファイルを管理する ● サブテナント オーナーまたは共同管理者に昇格させる
Users	CloudCenter プラットフォームの UI、API、または CLI を使用してアプリケーション プロファイルの作成、アプリケーションの導入、アプリケーションの管理を行う人。ユーザは*標準*ユーザとも呼ばれます（「Standard Users」を参照）。
リソース オーナー	リソースには*リソース オーナー*（ownerUserId で識別）の概念があります。この ID は、共同管理者がリソースを作成した場合でも、デフォルトで自動的に、ルート テナント管理者になります。このデフォルト設定は管理（またはテナント）リソースにのみ適用されます（これらのリソースにはテナントのみがアクセス可能なため）。 リソースの権限コントロールは、管理者または共同管理者ではなく*リソース オーナー*に関連付けられています。 アクセス コントロール リストで制御されるリソース（「resourceName」を参照）については、必要に応じてリソース オーナーが共有権限（「perms」を参照）を明示的に付与する必要があります。
エンド ユーザ（End Users）	オンボードおよび導入後にアプリケーションを使用するユーザ。
システム管理者（System Administrator）	CloudCenter プラットフォームのインフラストラクチャ システム管理者（SysAdmin）は、CloudCenter プラットフォームのインストールおよび管理を行います。このユーザは他の CloudCenter ユーザおよびアカウントとは関係ありません。 CloudCenter システム管理者は他とは異なるクレデンシャル（「Log in as a System Admin」を参照）を使用し、次のタスクを実行します。 ● CloudCenter プラットフォームをインストールしてモニタする（「Deployment Best Practices」を参照） ● SSO を使用するようにテナントを設定する（「SAML SSO Integration」を参照） ● 暗号化サービスを実行する（「CloudHSM Integration」を参照） CloudCenter システム管理者アカウントの最初のクレデンシャルを取得するには、CloudCenter サポートにお問い合わせください。

グループ（Groups）	各ユーザは、1 つのグループに割り当てることも、1 つ以上のグループに割り当てることも、グループに割り当てないこともできます。
ロール	ロールとは、CloudCenter 機能に特化したグローバル権限の集合です。ロールによって、CloudCenter 機能（アプリケーション プロファイルの作成やクラウド アカウントの追加など）に対するユーザ権限およびアクセス許可を制御します。 ロールは 1 つのテナント内のユーザおよびグループにのみ適用されます。サブテナントとサブテナント ユーザには適用されません。
権限（Permissions）	CloudCenter では、CloudCenter 内のユーザ オブジェクトおよびリソース共有権限を細分化できます（たとえば、特定の導入環境を表示可能にしたり、特定のアプリケーション プロファイルを他のユーザまたはユーザ グループと共有可能にしたりします）。「Permission Control」を参照してください。

サービス

サービス関連の用語

用語	定義（Definition）
サービス	Base OS Images イメージ上で動作し、フレームワークの依存関係（1 つ以上のアプリケーションをオンボードまたは移行する際に呼び出される）を取得するように定義できる再利用可能なコンポーネント。
サービス ライブラリ	ベース OS イメージ（アウトオブボックス）とカスタム イメージ（アプリケーション プロファイルに含まれる）の集合で、イメージ、サービス、コンテナなどの複合アプリケーション トポロジをサポートします。ベース OS イメージ（アウトオブボックス）とカスタム イメージ（アプリケーション プロファイルに含まれる）の集合で、イメージ、サービス、コンテナなどの複合アプリケーション トポロジをサポートします。
システム サービス	すべてのサポート対象サービス。
親サービス	サービスを定義するときに管理者によって決定されるサービス カテゴリまたはグループ。たとえば、MySQL と Oracle のどちらのサービスも親としてデータベース カテゴリ（またはグループ）が指定されます。詳細については、「Topology Modeler」 > 「*Topology Modeler Services*」を参照してください。
カスタム サービス	サービス ライブラリに存在するユーザ定義のサービス。
外部サービス	別の場所に存在するサービス。詳細については、「External Service」を参照してください。
複合アプリケーション トポロジ	さまざまな形式のサービス、イメージ、およびコンテナを含むアプリケーション スタック。
トポロジ モデラー	各種プロファイル テンプレートとアウトオブボックス サービス、イメージ、およびコンテナを使用したアプリケーション プロファイルのモデリングに使用される CCM UI ツール。
サービス ライフサイクル アクション	各アプリケーションについてサービス導入プロセスの詳細な手順（開始、停止、アップグレード、削除、実行など）をそれぞれに決定するアクション。

サポート対象

- パブリック クラウド
- データセンターおよびプライベート クラウド
- 仮想アプライアンス
- インストーラ
- アプリケーション プロファイル
- サービス
- ベース OS イメージ
- ダイナミック ブートストラップのサポート
- NFS ファイル システム オプション
- サポート終了通知

サポートされているパブリック クラウド

シスコでは、次のパブリック クラウドとマネージド プライベート クラウドをサポートしています。次の表は、現在 CloudCenter 導入ですぐに利用可能なクラウド リージョンを示しています。これらは CloudCenter のすべてのお客様にご利用いただけます。このリストに含まれている一部のパブリック クラウドはマネージド プライベート クラウドとして提供される場合もあります。

> 専用の CloudCenter 導入（顧客ホスト型）の場合、CloudCenter-as-a-Service（シスコ ホスト型）ですぐに利用可能なリージョンに加えて、クラウド ファミリの各リージョンで CCO をインストールする必要があります。

	クラウド ファミリ	利用可能なリージョン
1	Amazon Web Services（AWS）	米国東部 1（バージニア）
		米国東部 2（オハイオ）
		米国西部 1（北カリフォルニア）
		米国西部 2（オレゴン）
		米国西部 GovCloud
		カナダ/中部 1
		欧州中部 1（フランクフルト）
		欧州西部 1（アイルランド）
		欧州西部 2（ロンドン）
		アジア太平洋北東 1（東京）
		アジア太平洋南東 1（シンガポール）
		アジア太平洋北東（ソウル）
		アジア太平洋南 1（ムンバイ）
		アジア太平洋南東（シドニー）
		南アメリカ東（サンパウロ）
		中国北部（北京）
2	Google Cloud	Google-us-central1
		Google-*us-east1*
		Google-*us-west1*
		Google-*europe-west1*
		Google-*asia-east1*
		Google-*asia-northeast1*
3	VMware	vCloud Air Dedicated Cloud
4	Microsoft Azure クラシック	Azure-us-east（バージニア）
		Azure-europe-north（アイルランド）
		Azure-japan-west（大阪）
		Azure-china-north（北京）
		Azure-china-east（上海）
		Azure-japan-east（埼玉）
		Azure-europe-west（オランダ）
		Azure-us-west（カリフォルニア）

		Azure-us-gov（アイオワ）
5	Microsoft Azure Resource Manager（RM）	米国東部（バージニア）
		米国東部 2（バージニア）
		米国中部（アイオワ）
		米国中北部（イリノイ）
		米国西部（カリフォルニア）
		米国中南部（テキサス）
		米国西部 2
		米国中西部
		カナダ東部
		カナダ中部
		英国南部（ロンドン）
		北ヨーロッパ（アイルランド）
		西ヨーロッパ（オランダ）
		英国西部（カーディフ）
		東南アジア（シンガポール）
		東アジア（香港）
		韓国南（釜山）
		韓国中央（ソウル）
		東日本（埼玉）
		西日本（大阪）
		オーストラリア東部（ニュー サウス ウェールズ）
		オーストラリア南東部（ヴィクトリア）
		ブラジル南部（サンパウロ州）
6	Dimension Data（MCP 1.0、レガシー、および MCP 2.0）	北アメリカ - 米国東部（NA1）、米国西部（NA3）、米国東部 2（NA5）、米国東部 3 MCP 2.0（NA9）、米国西部 MCP 2.0（NA12）
		ヨーロッパ - ロンドン MCP 1.0（EU2）
7	IBM Bluemix（以前の SoftLayer）	DAL01、DAL09、DAL05、DAL06、DAL10、DAL12、DAL13（ダラス）
		HOU02（ヒューストン）
		SJC01、SJC03（サンノゼ）
		SEA01（シアトル）
		WDC01、WDC04、WDC06、WDC07（ワシントン DC）
		MON01（モントリオール）
		TOR01（トロント）
		AMS01、AMS03（アムステルダム）
		FRA02（フランクフルト）
		MIL01（ミラノ）
		OSL01（オスロ）

		PAR01（パリ） LON02（ロンドン）
		CHE01（チェンナイ）
		HKG02（香港）
		SEO01（ソウル）
		SNG01（シンガポール）
		TOK02（東京）
		SYD01（シドニー）
		MEL01（メルボルン）
		MEX01（ケレタロ）
		SAO01（サンパウロ）
8	Alibaba	米国東部 1（バージニア）
		米国西部 1（シリコンバレー）
		ドイツ 1（フランクフルト）
		アジア太平洋北東 1（日本）
		アジア太平洋南東 2（シドニー）
		アジア太平洋南東 1（シンガポール）
		中国南部 1（深セン）
		中国東部 2（上海）
		中国東部 1（杭州）
		中国北部 1（青島）
		中国北部 2（北京）
		中国北部 3（張家口）
		香港
		中東 1（ドバイ）

サポートされているデータセンターとプライベート クラウド

CloudCenter は、次のテクノロジー スタックを使用して構築されたデータセンターまたはプライベート クラウドをサポートします。

クラウド ファミリ	バージョン（Version）
VMware vCD	VMware vCloud Director 5.1
	VMware vCloud Director 5.5
	VMware vCloud Director 5.6
	VMware vCloud Director 8.1
VMware vSphere/vCenter	VMware vSphere 5.1
	VMware vSphere 5.5
	VMware vCenter 6.0
	VMware vCenter 6.5

OpenStack	Openstack Havana
	Openstack Icehouse
	OpenStack Juno
	OpenStack Kilo
	OpenStack Liberty
	OpenStack Newton
	OpenStack Mitaka
Cisco UCSD	Cisco UCS Director（UCSD）
Microsoft Windows Azure Pack	Azure Pack 更新プログラムのロールアップ 6 以降 CloudCenter プラットフォームは、現在 VM に関して Generation 1 プロファイル タイプをサポートしています

シスコでは、データセンターまたはマネージド プライベート クラウド用のアウトオブボックス イメージ マッピングを提供していません。アプリケーション VM 用にイメージ マッピングを設定する（「Map Images」を参照）と、使用可能なサービスが表示されます。

サポートされている仮想アプライアンス

CloudCenter のメジャー リリースには、次のコンポーネントおよびクラウド プロバイダー用のアプライアンスが含まれています。シスコは、これらのアプライアンスを **CentOS 7** ベース イメージ上に構築します。

クラウド	CloudCenter のコンポーネント								分散（Distribution）
	CCM	CCM SA	MGMTPOSTGRES	CCO	AMQP[1]	モニタ（Monitor）	REPO[2]	Worker[3]	
Amazon[4]	○	○	○	○	○	○	○	○	AMI イメージの共有
Microsoft Azure RM	○	○	○	○	○	○	○	[いいえ（No）]	VHD イメージのダウンロード
OpenStack	○	○	○	○	○	○	○	○	QCOW2 イメージのダウンロード
VMware vCenter[5]	○	○	○	○	○	○	○	○	OVA イメージのダウンロード
Google	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	○	○	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	QCOW2 イメージの共有
IBM Bluemix（以前の SoftLayer）	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	○	○	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	○	イメージの共有
Alibaba	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	N/A
VMware vCD	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	N/A
Microsoft Azure クラシック	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	N/A
Microsoft Windows Azure Pack	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	N/A
Dimension Data	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	[いいえ（No）]	N/A

1 *Guacamole* コンポーネントは **AMQP** 仮想アプライアンスの一部として提供されます。「Per Cloud Region (Required)」を参照してください。

2 **REPO** 仮想アプライアンスは 3 つのコンポーネント（バンドル ストア、パッケージ ストア、および Docker レジストリ）で構成されています。「Repo (Conditional)」を参照してください。

3 **ワーカー** イメージは CentOS 6 を使用して構築されています。「Phase 4 Overview」を参照してください。

4 **AMI** イメージは、南アメリカ、ムンバイ、ソウル、シドニー、シンガポール、ロンドン、フランクフルト、カナダ、米国東部、米国東部 2、米国西部 1、米国西部 2、アイルランド、および AP 北東の各リージョンで使用できます。「Public Clouds」を参照してください。

5 **VMware** イメージは vCenter 5.5 を使用して構築されています。「データセンターとプライベート クラウド」を参照してください。

これらのファイルは software.cisco.com からダウンロードできます。詳細については、「Virtual Appliance Overview」を参照してください。

サポートされているインストーラ

CloudCenter のメジャー リリースには、次のコンポーネントおよびクラウド プロバイダー用のアプライアンスが含まれています。

CloudCenter のコンポーネント	追加設定不要の OS タイプ パブリック クラウドとデータセンターとプライベート クラウド
CCM **CCM SA** **MGMTPOSTGRES**	• rhel6 • rhel7 • centos6 • centos7
CCO	• rhel6 • rhel7 • centos6 • centos7
AMQP	• rhel6 • rhel7 • centos6 • centos7
GUAC（Guacamole）	• rhel7 • centos7
MON（Monitor）	• rhel6 • rhel7 • centos6 • centos7
BUNDLE_STORE	centos7
PACKAGE_STORE	• centos6 • centos7 • rhel6 • rhel7 • ubuntu1404
EXT_SCRIPT_EXECUTOR	• rhel7 • centos7
DOCKER_REGISTRY	• rhel7 • centos7
***_WORKER**	完全なリストについては、「ベース OS イメージ」を参照してください

CloudCenter プラットフォームは、CentOS6 と RHEL6 OS を使用する HA 環境をサポートしません。

インストーラ方式は、固有のインストール シナリオの場合にのみ使用することをお勧めします（たとえば、カスタム OS イメージを使用する場合）。インストーラ方式の使用方法については、CloudCenter サポート チーム にお問い合わせください。

これらのファイルを software.cisco.com から /tmp フォルダにダウンロードできます。各 CloudCenter コンポーネントの使用方法の詳細については、「Virtual Appliance Overview」を参照してください。

サポートされているアプリケーション プロファイル

CloudCenter は、アプリケーションのオンボードに必要な情報を集めるための基本的なブループリントを提供する複数のアプリケーション プロファイル テンプレートをサポートします。

モデリング プロファイル

シスコでは、次のカテゴリごとに示したすぐに使用できるコア テンプレートを提供しています。

- **N 層 Web プロファイル**（複数の層が含まれ、それぞれ別のサーバまたはサーバ クラスタでプロビジョニングされる場合がある）：各層はいつでも別の層の出力と相互作用したり、その出力に依存したりすることができます。
  - **Java Web** プロファイル
  - **PHP Web アプリケーション** プロファイル
  - **Windows.Net Web アプリケーション** プロファイル
  - **Ruby on Rails Web アプリケーション** プロファイル
- **カスタム プロファイル**
  - **マルチステップ実行**プロファイル
  - **N 層実行**プロファイル
- **コア プロファイル**：
  - **バッチ**（非リアルタイムのシングルサーバ アプリケーション）：複数の独立したアプリケーション ジョブがキューに格納され、対応可能なクラスタによって処理されます。
  - **クラスタ**：導入を完了するために共有ファイル ストレージが設定されたクラスタが必要なアプリケーション。
  - **パラレル**（シングルサーバ アプリケーション）：独立したサーバで同時に起動される複数の独立したアプリケーション。
  - **シッククライアント インタラクティブ** アプリケーション（GUI インターフェイスを備えたデスクトップ アプリケーション）：アプリケーションをクラウド上で起動し、タブレット コンピュータなどのデバイスで動作するブラウザからアプリケーションの GUI にアクセスできます。
- **パッケージ化されたプロファイル**：
  - **Hadoop Jar Runner** プロファイル
  - 他の N 層プロファイル

サポートされるサービス

- アプリケーション VM サポート
- PaaS サポート
- ワークフロー サポート
- 商用サポート

> シスコでは、データセンターとプライベート クラウド用のアウトオブボックス イメージ マッピングを提供していません。アプリケーション VM 用にイメージ マッピングを設定すると（「Map Images」を参照）、CloudCenter のアウトオブボックス サービス（下記のリストを参照）が CCM UI に自動的に表示されます。
> これらのサービスの設定の詳細については、「Service Properties」を参照してください。

アプリケーション VM サポート

CloudCenter プラットフォームをインストールすると、**CentOS6.x** イメージでインストールされたアプリケーション VM ごとに次のサービス（アウトオブボックス）が動的に表示されます。

サービス タイプ（Service Type）	サービス	バージョン	ライセンス
フロントエンド キャッシュ	Varnish	4.0.4	BSD ライセンス
ロード バランサ	HAProxy	1.5.4	GPLv2
	Nginx	1.0.15	FreeBSD ライセンス

Web サーバ	Apache2	2.2.15	Apache License 2.0
	Geronimo3	3.0.0	Apache License 2.0
	IIS	7 および 8	Windows
	Jetty	9.0.2	Apache License 2.0
	Ruby	1.8.7 および 1.9.3	Ruby、GPLv2、FreeBSD
	Ruby on Rails	2.3.14	MIT ライセンス Ruby on Rails は Ubuntu12.04 でのみサポートされます。
	Tomcat6	6.0.43	Apache License 2.0
	Tomcat7	7.0.59	Apache License 2.0
メッセージ バス	ActiveMQ	5.8.0	Apache License 2.0
	RabbitMQ	3.5.1	Mozilla Public License
バックエンド キャッシュ	Memcached	1.4.4	修正 BSD ライセンス
ファイル システム（File System）	CephFS	0.94	LGPL 2.1
	NFS	1.2.3	
データベース	MySQL	5.6.27	GPLv2
	SQL Server：	2008 および 2012	Windows
NoSQL データベース	Cassandra	2.0.17	Apache License 2.0
	MongoDB	2.6.7	GNU AGPL v3.0
オーケスト レーション	Chef	12.6（最新）	Apache License 2.0
	Puppet	4.3（最新）	Apache License 2.0
その他	Docker	1.7.1	Apache License 2.0
	Jmeter	2.12	Apache License 2.0

PaaS サポート

CloudCenter プラットフォームをインストールすると、クラウドごとに次のサービス（アウトオブボックス）が動的に表示されます。

番号	CloudCenter のサポート対象サービス	サポート対象のクラウド
1	リレーショナル データベース サービス（RDS）	AWS（最新バージョン）
2	Elastic Load Balancing（ELB）	AWS（最新バージョン）

ワークフロー サポート

CloudCenter プラットフォームをインストールすると、統合ごとに次のサービス（アウトオブボックス）が動的に表示されます。

番号	CloudCenter が提供するサービス	サポートされる統合
1	UCS Director	Cisco UCSD

商用サポート

ライセンスの問題により上記のカテゴリには含まれませんが、シスコでは商用サービスも提供しています。これには、Microsoft SQL Server、IBM WebSphere、Oracale WebLogic、Oracle データベース、WSO2 Application Server などが含まれます（ただしこれらに限定されません）。CloudCenter の顧客およびパートナーは、直接これらのサービスをモデリングすることも、CloudCenter の担当責任者またはパートナーに問い合わせてサポートを受けることもできます。

サポートされているベース OS イメージ

- 概要
- OS バージョン サポート
- 「ワーカー イメージの提供」列
- 「ダイナミック ブートストラップ」列
- CentOS 6
- CentOS 7
- CentOS 7 – Docker
- RHEL 6
- RHEL 7
- Ubuntu 12
- Ubuntu 14
- Windows Server 2008
- Windows Server 2012

概要

ベース OS イメージ（ワーカー イメージとも呼ばれる）は、ダイナミック ブートストラップをサポートしていないクラウドの場合にのみ必要です。クラウドの中にはダイナミック ブートストラップをサポートしないものがあり、ベース オペレーティング システム（OS）イメージの準備が必要になります。このセクションの表は、各クラウドおよび OS に対してシスコが提供するイメージの完全なリストを示しています。

OS バージョン サポート

このページでは、CloudCenter でサポートされるすべてのクラウドに関して、イメージのリストとサポート詳細を示します。シスコでは、2 つの最新バージョンのイメージを提供します。

「ワーカー イメージの提供」列

個の列には次のいずれかの値が示されます。

インジケータ	説明
○	アプリケーション VM（ワーカー）イメージは、シスコによって提供されます。「Installation Approach」 > 「*Custom Images*」を参照し、CloudCenter の「Installation Approach」の指示どおりに、通常のパスに従ってワーカー イメージをアプリケーション VM にインストールします。
なし	アプリケーション VM（ワーカー）イメージは、シスコでは提供しません。

「ダイナミック ブートストラップ」列

CloudCenter プラットフォームがブートストラップをサポートしている場合、「**ダイナミック ブートストラップ**」列ではその OS のステータスが**サポート対象**であると表示され、プロビジョニングするときに CloudCenter が欠落エージェントを検出し、自動的にエージェントを VM にプッシュすることを示します。

インジケータ	説明
サポート対象	ダイナミック ブートストラップがサポートされている場合、2 つのオプションがあります。 • 公開されている独自のイメージを使用する。 • 独自のカスタム イメージを作成し、CloudCenter が提供するイメージをこのカスタム イメージにインストールする。
未サポート	ダイナミック ブートストラップがサポートされていない場合（たとえば VMware）、2 つのオプションがあります。 • 独自のカスタム イメージを使用する。 • 独自のカスタム イメージを作成し、CloudCenter が提供するイメージをこのカスタム イメージにインストールする。

CentOS 6

クラウド	ワーカー イメージの提供	ダイナミック ブートストラップ
AWS（非政府）	○	サポート対象
Google Cloud	○	サポート対象
Vmware	○	未サポート
Azure Classic（非政府）	○	サポート対象
Azure RM（非政府）	○	サポート対象
Dimension Data	○	未サポート
SoftLayer	○	サポート対象
Alibaba	○	サポート対象
VMware vCD/vSphere/vCenter	○	未サポート
OpenStack	○	サポート対象
Cisco UCSD	○	未サポート
Azure Pack	なし	未サポート

CentOS 7

クラウド	ワーカー イメージの提供	ダイナミック ブートストラップ
AWS（非政府）	○	サポート対象
Google Cloud	○	サポート対象
Vmware	なし	未サポート
Azure Classic（非政府）	○	サポート対象
Azure RM（非政府）	○	サポート対象
Dimension Data	○	未サポート
SoftLayer	○	サポート対象
Alibaba	○	サポート対象
VMware vCD/vSphere/vCenter	○	未サポート
OpenStack	なし	サポート対象
Cisco UCSD	○	未サポート
Azure Pack	なし	未サポート

CentOS 7 – Docker

クラウド	ワーカー イメージの提供	ダイナミック ブートストラップ
AWS（非政府）	○	サポート対象
Google Cloud	○	未サポート
Vmware	なし	未サポート
Azure Classic（非政府）	なし	未サポート
Azure RM（非政府）	なし	サポート対象
Dimension Data	○	未サポート
SoftLayer	○	サポート対象
Alibaba	なし	サポート対象
VMware vCD/vSphere/vCenter	○	未サポート

クラウド	ワーカー イメージの提供	ダイナミック ブートストラップ
OpenStack	なし	サポート対象
Cisco UCSD	○	未サポート
Azure Pack	なし	未サポート

RHEL 6

クラウド	ワーカー イメージの提供	ダイナミック ブートストラップ
AWS（非政府）	○	サポート対象
Google Cloud	○	サポート対象
Vmware	なし	未サポート
Azure Classic（非政府）	なし	サポート対象
Azure RM（非政府）	なし	サポート対象
Dimension Data	○	未サポート
SoftLayer	○	サポート対象
Alibaba	なし	サポート対象
VMware vCD/vSphere/vCenter	○	未サポート
OpenStack	なし	未サポート
Cisco UCSD	○	未サポート
Azure Pack	なし	未サポート

RHEL 7

クラウド	ワーカー イメージの提供	ダイナミック ブートストラップ
AWS（非政府）	○	サポート対象
Google Cloud	○	サポート対象
Vmware	なし	未サポート
Azure Classic（非政府）	なし	サポート対象
Azure RM（非政府）	○	サポート対象
Dimension Data	○	未サポート
SoftLayer	○	サポート対象
Alibaba	なし	サポート対象
VMware vCD/vSphere/vCenter	○	未サポート
OpenStack	なし	未サポート
Cisco UCSD	○	未サポート
Azure Pack	なし	未サポート

Ubuntu 12

CloudCenter の視点での Ubuntu 12x については、「サポート終了通知」を参照してください。

クラウド	ワーカー イメージの提供	ダイナミック ブートストラップ
AWS（非政府）	○	サポート対象
Google Cloud	○	サポート対象
Vmware	なし	未サポート
Azure Classic（非政府）	○	サポート対象
Azure RM（非政府）	○	サポート対象
Dimension Data	○	未サポート
SoftLayer	○	サポート対象
Alibaba	なし	サポート対象
VMware vCD/vSphere/vCenter	○	未サポート
OpenStack	なし	サポート対象
Cisco UCSD	○	未サポート
Azure Pack	なし	未サポート

Ubuntu 14

クラウド	ワーカー イメージの提供	ダイナミック ブートストラップ
AWS（非政府）	○	サポート対象
Google Cloud	○	サポート対象
Vmware	なし	未サポート
Azure Classic（非政府）	○	サポート対象
Azure RM（非政府）	○	サポート対象
Dimension Data	○	未サポート
SoftLayer	○	サポート対象
Alibaba	○	サポート対象
VMware vCD/vSphere/vCenter	○	未サポート
OpenStack	なし	サポート対象
Cisco UCSD	○	未サポート
Azure Pack	なし	未サポート

Windows Server 2008

Cisco CloudCenter では、Windows 2008 とともに Powershell 4.0 を使用する**必要があります**。

Powershell 4.0 が実行されていることを確認するには、次のコマンドを発行してバージョンを検証します。

```
PS C:\> $PSVersionTable.PSVersion

Major Minor Build Revision
----- ----- ----- --------
4  0  -1  -1
```

クラウド	ワーカー イメージの提供	ダイナミック ブートストラップ
AWS（非政府）	○	サポート対象
Google Cloud	○	サポート対象
Vmware	なし	未サポート
Azure Classic（非政府）	○	サポート対象
Azure RM（非政府）	○	サポート対象
Dimension Data	なし	サポート対象外
SoftLayer	○	サポート対象
Alibaba	○	サポート対象
VMware vCD/vSphere/vCenter	○	未サポート
OpenStack	なし	サポート対象
Cisco UCSD	○	未サポート
Azure Pack	なし	未サポート

Windows Server 2012

クラウド	ワーカー イメージの提供	ダイナミック ブートストラップ
AWS（非政府）	○	サポート対象
Google Cloud	○	サポート対象
Vmware	なし	未サポート
Azure Classic（非政府）	○	サポート対象
Azure RM（非政府）	○	サポート対象
Dimension Data	なし	サポート対象外
SoftLayer	○	サポート対象
Alibaba	○	サポート対象
VMware vCD/vSphere/vCenter	○	未サポート
OpenStack	なし	サポート対象
Cisco UCSD	○	未サポート
Azure Pack	なし	未サポート

ダイナミック ブートストラップのサポート

CloudCenter の管理エージェントは、管理エージェントがインストールされていないイメージから起動される VM に動的にインストールできます。

次の表に、ダイナミック ブートストラップがサポートされるクラウドとイメージを示します。

クラウド名（Cloud Name）	AWS	Azure	Google	OpenStack	SoftLayer[1]	Alibaba
Windows 2008	Yes[2]					
Windows 2012	Yes[2]					
CentOS 6	設定によって異なる	Openlogic	○	○	○	○
CentOS 7	○	Openlogic	○	○	○	○
Ubuntu12	○	○	○	○	○	○
Ubuntu14	○	○	○	○	○	○

[1] SoftLayer では、HTTP サーバではなく HTTPS サーバに次のブートストラップ スクリプトがホストされている必要があります。

```
bootstrap.linux.url
bootstrap.win.url
bootstrap.py.url
```

[2] cloudbase-init が自動的にユーザ データをスクリプトとして実行するように設定されている Windows（デフォルトの動作）。

シスコは、CloudCenter のダイナミック ブートストラップ機能用に Alibaba によってパブリッシュされた（2016 年 7 月以降）イメージをサポートしています。

Google Cloud の微妙な違い
Windows ブートストラップは、Google Cloud の管理者ユーザが存在しないため、デフォルトのパブリック イメージでは動作しません。その結果、クラウド開始（ブートストラップ）スクリプトはこれらのインスタンスでは実行されません。

詳細については、以下のセクションを参照してください。

- Dynamically Bootstrapping
- Worker (Conditional) > *HTTPS Dependencies*

NFS ファイル システム オプション

CloudCenter には、次のアウトオブボックス NFS ファイル システム オプションが用意されています。

- リニア：1 台以上のディスク
- RAID 0：2 台以上のディスク
- RAID 1：2 台以上のディスク（偶数）
- RAID 5：3 台以上のディスク
- RAID 6：4 台以上のディスク
- RAID 10：4 台以上のディスク（偶数）

詳細については、「Storage as a Service」を参照してください。

サポート終了通知

CloudCenter プラットフォームに関する通知

シスコは、最近 18 か月以内に使用可能になった CloudCenter リリースをサポートします。

- 以下の CloudCenter リリースは 2017 年 5 月 18 日時点でサポート終了（EOL）になっています。
  - CloudCenter 3.x
  - CloudCenter 4.0.x
  - CloudCenter 4.1.x
  - CloudCenter 4.2.x
  - CloudCenter 4.3.x

- 以下の CloudCenter リリースは、示されているとおりに EOL に達する予定です。

CloudCenter リリース	EOL スケジュール
CloudCenter 4.4.x	2017年7月31日
CloudCenter 4.5.x	2017 年 10 月 22 日
CloudCenter 4.6.x	2018 年 3 月 30 日
CloudCenter 4.7.x	2018年7月5日

サードパーティに関する通知

- Ubuntu 12.04（Precise Pangolin）は、2017 年 8 月 28 日でサポート終了です
  - また、シスコは CloudCenter 4.8.1 で Ubuntu 12.04 のサポートを廃止します。
  - CloudCenter 4.8.1 リリースが使用可能になった時点で、リリース ノートでさらに詳細を示します。